

12.10.13
日道村後場

鳥取縣公報

第八百六十九號

昭和十二年十月十二日

火曜日

縣令

◇鳥取縣令四十四號

昭和二年鳥取縣令第七十二號原動機取締規則左ノ通改正ス

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

原動機取締規則

第一條 本令ニ於テ原動機ト稱スルハ油機關、瓦斯機關及電動機ヲ謂フ

第二條 原動機ヲ設置スルトキハ知事ノ許可ヲ受クベシ 但シ五馬力以下ノ電動機ニ在リテハ所轄警察署長ノ許可ヲ受クベシ

原動機ノ移轉又ハ變更ヲ爲サントスルトキ亦前項ニ同ジ

第三條 前條ノ願出ハ様式第一號ニ依ルベシ

第四條 原動機ハ左記各號ノ距離ヲ有スル場所ニ非ザレバ設置スルコトヲ得ズ 但シ規模設備又ハ土地ノ狀況等ニ依リ斟酌スルコトアルベシ

一 油機關及瓦斯機關ニ在リテハ

人家ニ對シテハ二十米

社寺、學校、官公署、公園其ノ他多衆會同スル建造物ニ對シテハ六十米

火藥類其ノ他爆發性ノ物品ヲ製造シ又ハ貯藏スル場所ニ對シテハ四百四十米

二 電動機ニ在リテハ前項ノ場所ニ對シテ

第五條 電動機ニ在リテハ自動「スキッチ」ヲ設備スルニ非ザレバ之ヲ設置スルコトヲ得ズ

第六條 原動機ノ設置、移轉増設又ハ變更工事落成シタルトキハ使用前設置ノ許可ヲ受ケタル官廳

ニ届出デ検査ヲ受クベシ

検査ニ合格シタル原動機ニ對シテハ油機關、瓦斯機關ニ在リテハ様式第二號電動機ニ在リテハ様

式第三號ニ依ル検査證ヲ交付ス

第七條 検査證ヲ受ケザル原動機ハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第八條 検査證ハ原動機室ノ賭易キ場所ニ之ヲ掲クベシ 但シ可搬ノモノニ在リテハ取扱主任者之

ヲ携帯スベシ

第九條 原動機及附屬機械並傳導裝置ニハ騒響飛塵若ハ震動ヲ防止スルニ適當ナル設備ヲナスベシ

前項ノ設備ニシテ不充分ト認メタルトキハ特別ノ施設ヲ命ジ又ハ使用ヲ制限スルコトアルベシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ原動機ノ使用ヲ停止シ又ハ其ノ設置ノ許可ヲ取消スコトアル

ルベシ

一 許可ヲ受ケタル日ヨリ六ヶ月以上工事ニ着手セザルトキ

二 本令又ハ本令ニ基キ發スル命令ニ違背シタルトキ

三 許可ノ條件又ハ制限ニ違背シタルトキ

四 故ナク休止六ヶ月以上ニ及ブトキ

五 其ノ他不適當ト認メタルトキ

第十一條 原動機（五馬力以下ノ電動機ヲ除ク）ヲ設置シタルトキハ取扱主任ト爲ル者ヲ定メ許可

ヲ受ケタル官廳ニ願出デ認可ヲ受クベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

前項ノ願書ニハ取扱主任者タラントスル者ノ履歷書ヲ添附スベシ

第一項ニ依リ認可シタルトキハ認可證（様式第四號）ヲ交付ス

第十二條 原動機取扱主任者ハ三ヶ月以上取扱ニ従事シタル履歷ヲ有スルモノタルコトヲ要ス 但

シ知事ニ於テ適當ト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ取扱主任者タラントスル者ニ對シテハ必要ト認ムル場合ハ試験ヲ行フコトアルベシ

第十三條 取扱主任者ニシテ不適當ト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第十四條 左ノ場合ニ於テハ其ノ原因並狀況ヲ具シ速ニ警察署長ニ届出ツベシ

一 原動機ニ異狀アリト認メタルトキ

二 危険ヲ誘致スル附屬物(瓦斯「タンク」油「タンク」等)破損シタルトキ

第十五條 知事ニ於テ必要ト認メタルトキハ臨時ニ検査ヲ行フコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テハ設置者ハ取扱主任者ト共ニ検査ニ立會フベシ

第十六條 検査官吏ニ於テ原動機検査ノ爲必要テリト認ムルトキハ其ノ設備ノ全部又ハ一部ヲ除去

シ其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 正當ノ理由ナクシテ原動機ノ検査ヲ拒ミ又ハ之ヲ免レントシ其ノ他検査ニ關シ當該官吏

ノ命ニ遵ハザルトキハ原動機ノ使用ヲ停止スルコトアルベシ

第十八條 原動機ヲ讓受ケ使用セントスル者ハ七日以内ニ讓渡人ト連署ノ上設置ノ許可ヲ受ケタル

官廳ニ届出デ検査證ノ書換ヲ受クベシ

第十九條 家督相續ニ依リ事業ヲ繼承シ其ノ原動機ヲ使用スル者ハ十四日以内ニ許可ヲ受ケタル官

廳ニ届出デ検査證ノ書換ヲ受クベシ

第二十條 左ノ各號ノ場合ニ於テハ十日以内ニ許可ヲ受ケタル官廳ニ届出ヅベシ 但シ第三號ノ場

合ニ於テハ検査證ヲ返納シ第四號ノ場合ニ於テハ之ガ書換又ハ再下付ヲ受クベシ

一 許可ヲ受ケタル後原動機ノ使用ヲ休止セントスルトキ及其ノ原動機ヲ更ニ使用セントスルト

キ

二 原動機ノ使用ヲ廢止シタルトキ

三 六ケ月以上原動機ノ使用ヲ休止セントスルトキ及其ノ原動機ヲ更ニ使用セントスルトキ

四 検査證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ

第二十一條 本令ノ規定ニ依リ知事ニ提出スル願届書ハ所轄警察署長ヲ經由スベシ

第二十二條 第二條、第五條乃至第八條、第十一條、第十四條、第十八條乃至第二十條ノ規定ニ違

反シ若ハ第十五條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ又ハ第九條、第十六條ノ規定ニ依ル命令若クハ處分ニ

從ハザル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十三條 原動機設置者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居雇人其ノ他従業者ニシテ本令ニ基キ發

シタル命令又ハ處分ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得

ズ

第二十四條 原動機設置者ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令

ニ依リ之ニ適用スベキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス 但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條 法人ノ代表者、其ノ他ノ從業者ニシテ法人ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違背シタルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

附 則

第二十六條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條 本令施行前ニ設置セル原動機ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス 但シ電動機ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ自動「スキッチ」ヲ取付ケ工事落成ノ場合ハ遲滞ナク落成届ヲ五馬力ヲ超ユル電動機ニ付テハ知事ニ其ノ他ノ電動機ニ付テハ所轄警察署長ニ提出シ検査ヲ受クベシ

第二十八條 本令ハ當分稻扱、籾摺、灌漑又ハ排水ニ使用スル可搬ノ原動機ニ之ヲ適用セズ

様式第一號

(縦二二六浬
横一七八浬)

原 動 機 設 置 願

本 籍

住 所

一	出願者ノ原籍		氏 名
二	同上住所、氏名、生年月日		生 年 月 日
三	事業ノ名稱及種類		(法人ニ在リテハ代表者ノ住所氏名)
四	原動機設置ノ場所		
五	原動機ノ種類及個數		
六	原動機使用ノ目的及一日ノ使用時間		
七	危害豫防ノ設備		
八	使用職工數		
九	工事落成豫定期日		
昭和 年 月 日			

左記ノ通り原動機設置致度候間御許可相成度別紙明細書相添此段及御願候也

(法人ニ在リテハ代表者ノ住所氏名)

- 一四 製造所名製造年月日及經歷
- 一五 消音器ノ設備アルモノハ其装置及寸法

様式第一號ノ二

電動機明細書

(縦二六八浬 横一七、八浬)

一 種類型式及個數	
二 馬力數又ハ「ワット」數	
三 毎分ノ回轉數	
四 配電盤ノ配置圖	
五 全負荷電流	
六 電 壓	
七 製造所名及製作年月日	

様式第二號 (縦一七、八浬 横二、六浬)

第 號

油 石 機 關										
場	種類	型式	馬力數	檢 査						備考
				位置	持主	検査回数	検査年月日	検査官認印	昭和年月日	
				第 一	回	昭和	年	月	日	昭和 年 月 日 鳥 取 縣
				第 二	回	昭和	年	月	日	
				第 三	回	昭和	年	月	日	
				第 四	回	昭和	年	月	日	
				第 五	回	昭和	年	月	日	
				第 六	回	昭和	年	月	日	

様式第三號 (縦一七、八浬 横二、六浬)

第 號

電 動 機										
場	種類	型式	馬力數	檢 査						備考
				位置	持主	検査回数	検査年月日	検査官認印	昭和年月日	
				第 一	回	昭和	年	月	日	昭和 年 月 日 鳥 取 縣
				第 二	回	昭和	年	月	日	
				第 三	回	昭和	年	月	日	
				第 四	回	昭和	年	月	日	
				第 五	回	昭和	年	月	日	
				第 六	回	昭和	年	月	日	

様式第四號

(縦一九、六
横三、二、六、二、六、二、六)

原動機取扱主任者認可證			
取扱者氏名	住 所	生年月日	認可年月日
		年 月 日	年 月 日
		年 月 日	年 月 日
		年 月 日	年 月 日
備考			
昭和	年 月 日		
鳥 取 縣			

訓

令

◇鳥取縣訓令甲第十七號

鳥取縣產業資金貸付委員會規則左ノ通定ム

昭和十二年十月十二日

總 務 部 長
經 濟 部 長

鳥取縣知事

立 田 清 辰

鳥取縣產業資金貸付委員會規則

第一條 產業資金貸付委員會ハ左ノ事項ニ關シ調査審議ス

一 本資金ヲ借受ケテ實行セントスル事業ノ計畫内容ノ審査

二 資金貸付ノ調査及貸付後ノ指導監督

三 其ノ他貸付ニ關シ必要ト認ムル事項

第二條 委員會ハ會長及委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス 但シ必要ニ應ジ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ知事、委員ハ知事之ヲ命ジ又ハ囑託ス

第四條 會長ハ會務ヲ掌理シ會ヲ代表シ會議ノ議長ト爲ル

第五條 委員會ニ幹事及書記若干名ヲ置キ知事之ヲ命ズ

幹事及書記ハ會長ノ指揮ヲ受ケ會務ニ従事ス
第六條 委員、幹事及書記本會ノ用務ニ依リ出張シタルトキハ本官職ニ依リ受クル旅費額ニ相當スル旅費ヲ支給ス

告 示

◆鳥取縣告示第五百七十四號

鳥取縣產業資金貸付規程左ノ通定ム

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

鳥取縣產業資金貸付規程

第一條 產業資金（以下單ニ資金ト稱ス）ハ農會、產業組合、森林組合、漁業組合、畜産組合、農事實行組合、養蠶實行組合其ノ他知事ニ於テ適當ト認ムル產業團體ノ行フ事業ノ創設並設備改善費ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ貸付クルモノトス
第二條 本資金ノ貸付限度ハ事業費ノ十分ノ八以内トス 但シ國又ハ縣其ノ他ヨリノ補助又ハ助成アル事業ニ付テハ其ノ額ヲ合シ事業ノ十分ノ八ニ達スル迄トス

第三條 本資金ノ貸付ハ一團體ニ付三千圓ヲ超ユルコトヲ得ズ 但シ知事ニ於テ特ニ必要ヲ認メタルトキハ其ノ金額ヲ増加スルコトヲ得

第四條 本資金ノ貸付ヲ爲サントスル場合ニ於テハ法人格ヲ有スル團體ニシテ團體經營ノ財的基礎鞏固ナルモノニ付テハ當該團體役員全員ノ連帶保證書ヲ其ノ他ノ團體ニ付テハ團體員全員ヲ連帶債務者トスル借用證書ヲ徴ス

第五條 本資金ノ貸付利率ハ年四分トス

第六條 本資金ノ償還方法ハ一ケ年以内据置キ五ケ年以内ノ年賦元利均等償還トシ毎年八月及二月末日ノ二期ニ於テ各六月分ヲ拂込ムモノトス 但シ貸付又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ滿タザル端數利子ハ貸付ノ際ニ於テハ貸付ノ翌日ヨリ償還ノ際ニ於テハ支拂ノ當日迄ノ日割計算ニ依ル

第七條 前條ノ償還期日ニ償還ヲ怠リタルトキハ其ノ期日ノ翌日ヨリ償還ニ至ル迄ノ期間償還スベキ金額百圓ニ付一日金四錢ノ割合ニテ延滞利子ヲ納付セシム

第八條 本資金ノ貸付ヲ受ケントスルモノハ毎年三月十日迄ニ左ノ書類ヲ添附シ知事ニ申請スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書
- 三 借入金所要金額

四 借入金償還年次表

第九條 本資金ノ貸付決定後其ノ事業ニ重要ナル變更ヲ爲サントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クベシ
第十條 本資金ノ貸付ヲ受ケタル團體ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ貸付金ノ全部又ハ一部
ヲ即時償還セシムルモノトス

- 一 本規程ニ違反シタルトキ
- 二 事業完成ノ見込ナキニ至リタルトキ
- 三 償還ノ見込確實ナラザルニ至リタルトキ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八條中三月十日迄トアルハ昭和十二年ニ限リ十月三十一日迄トス

◆鳥取縣告示第五百七十五號

昭和十三年四月入學セシムベキ臺灣總督府臺北第一師範學校、臺北第二師範學校、臺中師範學校及
臺南師範學校公學師範部演習科生徒ヲ募集セラル應募希望者ハ必要書類ヲ整へ本年十月二十五日迄
ニ臺北第二師範學校内生徒募集係ニ到達ノ日取ヲ以テ出身學校經由直接出願スベシ
尙募集要項ニ就テハ縣下各中學校或ハ縣學務課ニ照會セラレタシ

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

◆鳥取縣告示第五百七十六號

管下日野郡畜産組合ニ對シ日野郡石見村大字上石見ニ於テ臨時牛馬市場開設ノ件許可シタルニ依リ
家畜市場法第七條ニ依ル賣買交換停止區域及期間左ノ通指定ス

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

- 一 開設地 日野郡石見村大字上石見
- 二 市場開催日 自昭和十二年十一月十七日三日間
至昭和十二年十一月十九日
- 三 停止期間 市場開催日及其ノ前後各一日間
- 四 停止區域 日野郡石見村、福榮村、日野上村、黒坂町

◆鳥取縣告示第五百七十七號

動力糶摺業免許者中左記ノ通廢業届出アリタリ

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

免許番號	住	所	氏名
第五九五號	岩美郡蒲生村大字馬場一〇八番地		山川壽藏
第八五四號	日野郡日野村大字榎市一六番地		遠藤鹿雄

◇鳥取縣告示第五百七十八號

昭和十二年十月七日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證ヲ下付セリ

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

免許證番號	住	所	氏名
第一、〇四五號	氣高郡勝谷村大字乙亥正五〇番地		谷口繁一
第一、〇四六號	八頭郡賀茂村大字下坂四〇二番地		松本政則
第一、〇四七號	東伯郡高城村大字服部八〇三番地		石脇章
第一、〇四八號	同 郡矢送村大字關金宿九二三番地		河本雅明
第一、〇四九號	同 郡榮村大字東高尾五〇八番地		池本梅一

第一、〇五〇號	同 郡安田村大字尾張一三一番地		北村與之太郎
第一、〇五一號	同 郡南谷村大字泰久寺六一五番地		門谷重壽
第一、〇五二號	東伯郡竹田村大字穴嶋五三四番地		安本勇
第一、〇五三號	西伯郡巖村大字浦津二四三番地		小山哲
第一、〇五四號	同 郡尚徳村大字別所九七〇番貳地		諸田英二
第一、〇五五號	同 郡名和村大字加茂二〇〇番地ノ三		高橋民藏
第一、〇五六號	日野郡福榮村大字豊榮四〇番屋敷		花倉順三
第一、〇五七號	同 郡多里村大字上萩山一五五七番地		秋末百太郎
第一、〇五八號	同 郡二部村大字三部二〇二番地		酒井謙治郎

◇鳥取縣告示第五百七十九號

昭和十二年十月七日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證再交付セリ依ツテ同日以後舊番號ニ依ル免許證ハ無効トス

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

新免許證番號	七九八	住	八頭郡八東村大字横出一二〇番地	所	氏名
舊免許證番號					森下茂昌

◆鳥取縣告示第五百八十號

今回鐵道省事業準備ノ爲左記區域ノ土地ニ立入り測量可致旨鐵道省建設局長ヨリ通知アリタリ

昭和十二年十月十二日

鳥取縣知事 立田清辰

- 一起業者 鐵道大臣
- 一事業ノ種類 鐵道敷設
- 一立入ルベキ土地 八頭郡若櫻町、池田村
- 一立入期間 自昭和十二年十月四日 至同 年十月廿五日

彙報

昭和十二年十月四日 鳥取縣總務部統計課

昭和十二年鳥取縣米第一回豫想收穫高

本年ノ米作付段別ハ三萬二千九百町七段ニシテ之ヲ前年作付段別ニ比スレバ二百四十二町三段(七厘)ヲ増加セリ

而シテ九月二十日現在ニ於ケル豫想收穫高ハ六十八萬九千百十石ニシテ之ヲ前年實收高ニ比スレバ三萬二千八百七十石(四分五厘)ヲ減少セリ

蓋シ本年ノ稻作ハ苗ノ成育概ネ良好ニシテ移植後七月中旬頃迄ハ降雨、低溫持續シタル爲分蘖並生育遲延シタリシモ七月下旬(土用入後)ニ至リ高溫多照トナリ生育ノ回復ヲ見八月十五日現在ニ於ケル本縣作況ハ「稍良」ノ狀況ニ在リタリ其ノ後八月中モ氣溫日照共ニ順調ニ經過シタルモ九月上旬以降秋分ニ至ル迄ノ天候ハ平年ニ比シ氣溫低ク加フルニ九月十一日襲來セル大暴風雨ノ被害ヲ蒙リ特ニ晚稻ニ於テハ受精登熟ヲ妨ゲラレ被害ヲ見タルモノ多シ

尙病蟲害ノ發生ハ極メテ僅少ニシテ前五箇年平均ニ比スレバ一萬四千九百四十六石(二分二厘)増加ノ作柄ニシテ前記ノ如キ收穫豫想ヲ見ルニ至レリ

郡市別ニ示セバ左表ノ如シ

米第一回豫想收穫高 昭和十二年九月二十日現在(△印減)

水	稻	陸	稻	計
作付段別	豫想收穫高	作付段別	豫想收穫高	前年實收高
	ニ比シ増減			

鳥取市	町段 八〇〇、六	石 一八、三六	町段 〇、五	石 一〇	町段 八〇、二	石 一八、三七〇	石 七六
米子市	三一、九	六、七〇六	一一、五	二六三	三四、四	六、九六九	△ 五二九
岩美郡	三、三六、二	七三、〇八七	一一、八	八九	三、三四〇、〇	七二、一七六	三八一
八頭郡	四、四三、二	九六、四五六	三、四	二四九	四、四五四、六	九六、七〇五	△ 七三六
氣高郡	四、四三、一	八九、二四五	五、〇	三七二	四、四八一、一	八九、六二六	△ 七、〇三五
東伯郡	八、一七〇、〇	一八六、五六二	三五、一、九	二、〇一七	八、四三二、九	一八八、五七九	△ 七、一〇八
西伯郡	六、七五、三	一三三、三四九	二九三、四	三、〇一六	七、〇六八、七	三三、三五五	△ 三、五三
日野郡	三、八七五、五	七九、八六七	一三三、四	一、四六三	四、〇〇八、九	八一、三三〇	四、九八五
計	三、一三、八	六八一、六三三	七七七、九	七、四七八	三三、九〇、七	六九八、一〇	△ 三、八七〇

昭和十二年十月八日

昭和十二年サツマイモ豫想收穫高

鳥取縣總務部統計課

本縣ニ於ケルサツマイモ豫想收穫高ヲ九月十五日現在ヲ以テ調査シタル處、栽培現在面積ハ千五百五十一町七段、豫想收穫高ハ四百九十六萬九千九百二十九貫、一段歩豫想收穫高ハ三百二十貫ニシテ之ヲ前年實收調査ニ比スレバ栽培現在面積ハ八十七町七段(六分)ノ増加ヲ見タルモ、豫想收穫

高ニアリテハ六萬三千二百八貫(一分三厘)一段歩收穫高ニアリテハ二十四貫(七分)ノ各減少ヲ示セリ

蓋シ本年ノ作況ハ移植當時氣候適順ニシテ活着良好ナリシモ、其ノ後七月下旬ヨリ旱天持續シタル爲早害ヲ蒙リ諸ノ肥大ニ影響スル處尠カラズ斯ル減收豫想ヲ觀ルニ至レリ

郡市別ニ示セバ左表ノ如シ

サツマイモ豫想收穫高

昭和十二年九月十五日現在

	栽培現在面積	豫想收穫高	一段歩收穫高	前年收穫高	前年收穫高ニ比シ増△減
鳥取市	町段 八、四	貫 四三、〇〇〇	貫 五、〇〇〇	貫 三五、四〇〇	貫 六、六〇〇
米子市	一五、六	七九、八七二	五二二	九九、五六八	△ 一九、六九六
岩美郡	一四六、八	三七九、一三四	二五八	二七五、五四二	一〇三、九九一
八頭郡	九六、三	三〇二、六三三	二〇六	二七四、〇三一	△ 七二、三九八
氣高郡	三六、九	五四三、九六〇	三七七	七二〇、八四三	△ 一六七、八三三
東伯郡	三七九、七	一、一九五、一五二	三二五	一、一七三、〇五六	二二、〇九六
西伯郡	五八三、一	二、三三三、三〇三	四〇〇	二、三〇三、七九一	二八、五三二

日野郡	八〇、九	一九五、八七五	二四二	一六二、九〇六	三三、六六九
合計	一、五五二、七	四、九六九、九二九	三〇〇	五、〇三三、一三七	六三、二〇八

行旅死亡人

●一 自稱 北海道石狩國美唄町美唄炭山久松

成田 定吉 (六十四年)

- 一 性別 男
- 一 體格 肥大
- 一 身長 五尺四寸位
- 一 頭髮 丸刈
- 一 顔色 黒
- 一 人相 普通
- 一 特徴 黒ノロイド眼鏡ヲカケ兩腕ニ草花ノ入墨アリ
- 一 着衣 白メリヤスシャツ上下一着ヅツ無印ノ袷天着用
- 一 所持品 黒無地袷一枚黒色マント一

右昭和十二年五月十二日弘前警察署ヨリ引渡ヲ受ケ弘前市ニ於テ假埋葬セリ

- 一 本籍住所氏名 不詳
- 一 性別 男
- 一 年齢 六歳位(推定)
- 一 體格 瘠セタル方
- 一 身長 三尺五寸首ナク兩腕ナク腐爛セリ
- 一 着衣 ナシ
- 一 所持品 ナシ

右昭和十二年九月三日午前五時頃北津輕小泊村字コハマ海岸ニ溺死體トシテ漂着ニ付同村字小泊共葬墓地へ假埋葬セリ

右心當リノ向ハ當該村長へ照會サレタシ

●一 死亡場所 岩手縣上閉伊郡上郷村

一 氏名其他 氏名不詳

男、年令四十七歳位、體格中位、身丈五尺二寸五分、頭髮五分刈、顔色黒ク口耳並、着衣木綿黒縞襦袢、印半纏ズボン、ゲートル、地下足袋、所持品袷一枚單衣一、煙草入一、剃刀一

右心當リノ向ハ當該村長へ申出ラレタシ

右昭和十二年八月十五日同村仙人峠ニテ縊死同日假埋葬ニ付ス

右心當リノ向ハ當該村長へ申出ラレタシ

●一 死亡場所 岩手郡下閉伊郡茂市村

二 氏名 山川 浩次

齡二十六歳位、體格瘠セタル方、身丈五尺三寸位、頭髮前長分ケ、顔色蒼白ニシテ長ク鼻高
上奥上各一枚金ノ入齒アリ、着衣銀色縞フヲノ脊廣服白キヤヲコワイシヤツ茶縞ネクタイレ
インハット鼠色靴下黒革製短靴

右八月十四日轢死同日假埋葬セリ

右心當リノ向ハ當該村長へ申出ラレタシ

●一 昭和十二年八月十八日(管下)長崎縣西彼杵郡多以良村平倉郷沖合ニ於テ屍體發見

一 本籍住所氏名 不詳(男) 推定三十歳位

一 人 相 身長五尺二寸位目鼻口不明耳稍々大顔丸齒全部存ス頭髮五分刈眉毛濃ク其
他並

一 所持品 遺留品等ナシ

右心當リノ向ハ當該村長へ申出ラレタシ

●一 昭和十二年八月十五日長崎縣對馬豊崎村泉ヲ距ル約千百間ノ沖合ノ舟中ニ屍體發見(死後五
日ヲ經過セルモノト認ム)

一 本籍住所氏名 不詳

一 性別年齢 (男)推定五十歳位

一 職業 漁業

一 人 相 體著シク腐爛シ人相詳細不明ナルモ身長五尺一寸位、體格中等、顔丸キ方、頭
髮前長(一寸位伸ブ)

一 着 衣 久留米緋ヲ襟トシタル單衣ネル(紫色)ノ中長サ一寸巾八分位ノ灰色ノ斑點アル
腰卷ヲ着シ之ヲ炭色ノスコツチ紐ニテ締メ更ニ單衣ノ上ヨリ木綿黒兵兒帶ヲ用
フ

一 所持品 ナシ

右心當リノ向ハ當該村長宛申出ラレ度シ

●一 發見場所及日時

昭和十二年八月十二日青森縣弘前市大字住吉町住吉神社境内ニ於テ弘前警察署ヨリ行旅病人

トシテ引渡ヲ受ケ救護中死亡セルモノナリ

- 一 本籍住所氏名 不詳
- 一 年 齡 推定六十歲位
- 一 性 別 男
- 一 體 格 普通
- 一 身 長 五尺一寸位
- 一 頭 髮 白毛若干アリ
- 一 顔 色 人相 普通
- 一 特 徵 耳稍々長シ
- 一 着 衣 浴衣黒木綿帶
- 一 所 持 品 現金拾錢(壹錢銅貨拾枚)、帽子一(白ノ中折)

右心當リノ向ハ當該市長へ照會相成度

●一 發見ノ場所及日時

德島縣那賀郡平島村大字大原字野上三一五番地先(那賀川堤防上)ニテ
昭和十二年八月三十一日午前二時死亡

本 籍 朝鮮慶尙北道青松郡眞實面番不詳
現住所 大阪市東淀川区南濱一丁目十六番地
小 崎 薫 方

- 氏 名 コウドクドウ「日本名 森田信義」
 - 年 齡 三十三年
 - 一 性 別 男(體格)中肉(身長)五尺五寸位
 - 一 頭 髮 黒ク長刈ニテ「トキ分」(顔色)普通ナルモ稍々黒キ方
 - 一 人 相 顔稍々長ク鼻耳普通
 - 一 特 徵 ナシ
 - 一 着 衣 上服黒サージ脊廣、ズボン霜降セル藍色白棒縞カッター「シャツ」一、紫色毛糸腹卷一、鼠色ガス靴下一足、人絹海老茶星模様浮織ネクタイ一
 - 一 所持品 金側六形腕巻時計ゼンマイ付一、萬年筆一、シャブペンシル一、現金ナシ
- 右心當リノ向ハ至急當該村長宛申出ラレ度シ

十月十三日發行「週報」掲載内容左ノ通

週報第五十二號掲載内容

- 一 神嘗祭に就て (内務省 神社局)
- 一 資源愛護の奨め (資 源 局)
- 一 消費節約の目標 (大 藏 省)
- 一 國際收支の適合と國民の協力 (商 工 省)
- 一 皇威山西、山東に振ふ (陸軍省 新聞班)
- 一 松漣沿線に進出 (海軍省海軍軍事普及部)

昭和十二年十月十二日印刷
昭和十二年十月十二日發行

發行者 鳥取縣鳥取市東町
鳥取縣鳥取市東町
鳥取縣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所